

会 議 録		令和 6 年 6 月 24 日 作成	令和10年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府綾部警察署協議会（令和 6 年度第 1 回）		
開催日	令和 6 年 6 月 24 日（月曜日）		
時 間	午後 1 時 30 分から午後 3 時までの間（90 分）		
場 所	京都府綾部警察署 講堂		
出席者	大槻会長、塩見副会長、上原委員、藤田委員、四方委員 （欠席 吉田委員、玉川委員）		計 5 人
	署長、副署長、警務課長、地域課長、広聴係長		計 5 人
諮 問 事 項	警察官の新規採用と若手警察官の育成について		
会 議 内 容	1 委嘱状交付式 司会 副署長 2 会長挨拶 3 署長挨拶 4 新たに委嘱された委員挨拶 5 協議 司会 会長		
	(1) 諮問事項説明 警察官の新規採用と若手警察官の育成について～署長 【委員】 地元で開催された就職セミナーに参加して感じたことは、上場企業や名の知れた大きな企業には学生が集中していた。また、警察や自衛隊、海上保安庁等公務員のブースにもぎわいがあり、我々、中小企業からすれば羨ましくも感じられた。 綾部署では、良き人材を確保するために、いろいろ知恵を出し御苦労されながら求人活動されていることが分かった。私の立場では、ますます中小企業に良き人材が回ってくるのが困難であると感じた。 【委員】 4 月末に綾部市内で交通機動隊白バイ隊のイベントがあった。綾部という小さな都市で、あれだけ多くの白バイが様々な技を披露し、それを生で見た多くの子供が警察官に対する憧れを大きくしたのではないかと感じた。 綾部警察署と綾部市民との距離が縮まり、警察が身近に感じられた		

ことでも非常に良いイベントであったと思う。

【警察】警察官を志願する理由のひとつに「白バイに乗りたい。」と希望し、受験する人が多くいる。まだ受験資格がない小さな子供が白バイ隊員を見て、「将来警察官になりたい。」と伝えてくれれば幸いである。

また、あのイベントでは、女性隊員に男性隊員とは異なる赤色の隊服を着用してもらい、体力差がある女性隊員であってもあれだけの競技ができることをアピールした。これを見た女性や子供は、女性でも白バイに乗れ、男性に負けることなく走行ができることを実感したと思う。

【委員】警察官採用の競争率が、昨年は一昨年より減少したとの説明であった。子を持つ親としては競争率が低くなれば希望するところに就職できるのではないかと単純に考えてしまうが、やはり、良き人材、適性という視点では複雑な思いもある。

小学6年生の親たちが集い、「子供たちの将来の夢を考える時間を作ろう」と、話し合いをする機会がある。保護者だけではなく、警察官も参加し、警察官という仕事について話をしてもらえれば有り難いと思った。

会 議
内 容

【委員】府の職員には、福祉職、土木職、建築職、化学職、電気職等と言った専門的な資格を持つ人の枠があるが、警察は、警察官以外の職員は警察事務職員と言われるのか。

【警察】警察官や消防士は公安職と言われ、公共の安全をつかさどる職業として、強い正義感や何事にもひるまない強い心構えが求められる。他方、府や市の職員同様に、警察にも一般職員として、企画、立案、政策等に従事する行政職の職種がある。

京都府警の職員数は、約 7,200人であり、警察官が約 6,500人、警察事務職員は約 650人である。警察官の男女比率は約 9割が男性であるが、警察事務職員では約66%が女性である。

【委員】警察では柔道か剣道をしなければいけないのか。

【警察】警察官は、男性女性関係なく柔道か剣道を選択しなければならないが、その多くは柔道や剣道の経験無く警察官に採用されている。京都府警では過去に剣道で世界一になった教師がいるなど、各警察署には熟練の指導者が配属されており、日々指導にあたっている。

【委員】他の警察署では子供たちに剣道を教えていることもあり、警察署に足を運び、警察官と触れ合うことで警察に興味を持ち、将来警察官になりたいと思う切っ掛けにもなるのではないかと思った。

【委員】府の新規採用職員の中には、京都市内で働くことをイメージしていたのか綾部市に配属になると辞めていく者がいる。警察職員も府の職

会 議
内 容

員として京都府の中で配属されると思うが、綾部市に配属されても抵抗等はないのか。

【警察】警察職員も府の職員であり、京都府内で様々な所属に配属される。職員の中には、家庭の事情により負担と感じたり、不安を抱く者もいるかもしれないが、離職するといった選択肢を選ぶ職員はまずいない。

綾部署の幹部職員で言えば、一人を除き単身赴任者である。また、新規採用者が綾部署に配属されたとしても、綾部市民は温かく、親切な方が多く生活しやすいと思う。仕事面では、事案が少ない分落ち着いて一つずつ確実に対応することができ、考え方ではあるが、綾部署ならではの良い面があるように思う。

若い職員の中には、綾部で良いお相手を見付け結婚し、府北部で仕事を続けたいと考えている者もいる。

【委員】若い人は、運転離れしていると感じることがある。綾部では当然の様に仕事をするには車が必要であると思うが、若い警察官が運転に抵抗を感じていることはないのか。

【警察】警察学校を卒業すれば、車両の運転は自分自身の仕事の幅を広げるためにも必要不可欠である。また、運転技術向上のため訓練等も行っている。

【委員】警察官採用試験の申込者数と当日の受験者数を比較すると大きく減少している。要因は何か。

【警察】一般論として、インターネットでの申込みを導入したことが挙げられる。紙ベースでの申込みよりもインターネットは容易であるがゆえに、とりあえず申し込んだが、他の公務員や民間企業から内定を得たことで受験辞退者が増えていると考えられる。警察官になりたいとの強い意志を持った若者に挑戦していただくのがベストである。

【委員】警察官の3年後の離職率についてどのように考えているのか。

【警察】警察官に採用されれば、警察学校に入校し、警察官として必要な知識や技能を学ぶことになる。授業料を支払って学んでいる学生とは全く異なり、給与等を得ながら勉強や武道等をしている職業訓練学校であるがゆえに、規律正しい学校生活を余儀なくされる。集団生活に馴染めない、訓練についていけない等の理由から、一定数は離職している。

(2) その他

【委員】警察は人事異動が早いのではないかと考える。

赴任後、1年が経ちやっと地理や管内状況が分かりだし、これから自分なりにどのように仕事を進めるのかといった時に異動されているのではないか。

会議 内容	<p>【警察】署長、副署長ら幹部職員は、1年、長くとも2年で異動するケースが多いが、他の職員はおおむね5年以内に異動している。警察は許認可事務をはじめ職務上強い権限を有する組織であり、特定の団体や個人と適当な距離間を保つ上でも異動は必要である。また、若い職員では、自らが希望する専門分野の部署への配置換えなどで、短期での異動もあり得る。</p> <p>6 事務連絡</p> <p>令和6年度第2回京都府綾部警察署協議会は、令和6年9月ころに開催予定である。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
----------	---

第1回京都府綾部警察署協議会の開催状況

